

ジオパーク通信を、リニューアルしました！

ジオパーク通信は、今回から毎回「最新情報」と「コラム」の2つの情報をお届けします。

ユネスコ世界ジオパーク再審査の日程が決まりました！

世界ジオパークの認定を受けた地域は、その価値を保障するために、4年間に一度の再審査を受けなくてはなりません。今年（平成29年）は、その再審査が行われる年で、特に今回はジオパークがユネスコの正式事業になってから初めての再審査です。

○日時：平成29年7月24日(月)～26日(水)（3日間）

○内容：ジオパーク内のサイト・施設の様子や、教育・ガイド・住民団体等の活動内容 など



前回の再審査 (H25) の様子

最新情報

ユネスコ世界ジオパークって、何？

世界ジオパークは、平成27年11月に、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の正式な事業として認められました。このユネスコ世界ジオパークは、どのような地域が認定され、何をめざして活動をしているのでしょうか。

この認定を受けるためには、まず「地球科学的に貴重な国際的価値がある」ことが条件です。さらに、ユネスコ世界ジオパークの認定書には「ジオパークは、（中略）私たちが住む地球のあらゆる場所を形作ってきた大地の歴史と、そこに生きるすべての命、そして人間社会をつなげるものです」と書かれています。ちょっと難しい表現ですが、地形や地質の価値に加え、その土地ならではの特徴を、地域づくりに生かすことが大切とされています。ユネスコ世界ジオパークの認定は、地域の自然、食べもの、文化、観光、教育なども含めた「地域まるごとの価値」が、世界的レベルであると認められた証なのです。

そんな視点で、あらためて私たちの暮らす地域を見渡すと、見なれた景色がなんだか誇らしく感じられませんか？ ジオパークの活動の中で、これからも地域に秘められた魅力をもっと探しだして、世界に向けて発信して行きたいと考えています。



コラム

ジオパークとは、大地の成り立ちと、自然、人間とのつながりを楽しく学ぶことができる地域のこと。国内には「ユネスコ世界ジオパーク（国際認定）」を受けた地域が8地域、「日本ジオパーク（国内認定）」を受けた地域が43地域あります。洞爺湖有珠山ジオパーク（伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町）は、この両方の認定を受けています。